

平成30年度 土木学会四国支部 「土木の日」記念行事 報告

日 時：平成30年11月20日（火）15:00 ～ 16:30

会 場：サンポート高松 61 会議室 （高松市 高松シンボルタワー内ホール棟6階）

参加人数：70 名

➤ 15:00～15:05 挨拶 土木学会 四国支部長 島 弘

➤ 15:05～15:20 土木学会選奨土木遺産 認定授与式



写真 1. 島支部長の挨拶

平成30年度土木学会選奨土木遺産として、徳島県徳島市にある「吉野川橋」が認定されました。認定授与式に先立ち、土木学会四国支部選奨土木遺産選考委員会の尾野薫委員長より、選奨土木遺産制度の概要と、今回認定された「吉野川橋」の土木遺産としての価値をご紹介いただきました。認定授与式では、土木学会四国支部島支部長から徳島県土木整備部道路整備課強靱化・安全対策担当室長の森野克也様へ認定書及び銘板が贈られました。



写真 2. 尾野委員長による説明



写真 3. 認定書の授与



写真 4. 記念撮影



写真 5. 森野様のご挨拶

➤ 15:20～16:30 特別講演

内閣府地方創生推進室都市可視化調整官・日本大学客員教授 赤星 健太郎 氏

「持続可能な地域構造の形成に向けて

- 可視化を通じて四国の持続可能な地域構造を考える - 」

選奨土木遺産認定授与式の後、内閣府の赤星氏による特別講演会を開催しました。

人口減少社会を迎えたわが国では、小さな拠点、地域拠点都市、大都市圏などが連携した、持続可能な地域構造を形成することが求められています。地域住民や行政が望ましい都市構造のイメージを共有し、適切な計画の立案や円滑な合意形成を行うツールとしての Google Earth を用いた 3D 地図である「i-都市再生」をご紹介いただきました。また、i-都市再生を用いて四国の各都市における 1970 年代から現在までの都市構造の変化をご紹介いただくとともに、i-都市再生を用いた持続可能な地域構造の形成についてご講演いただきました。



写真 6. 赤星氏によるご講演



写真 7. 赤星氏によるご講演



写真 8. 赤星氏によるご講演



写真 9. 質疑応答